

臨床研究情報

○研究課題名

胃体部・穹窿部病変の吐血患者に対する内視鏡止血術における視野確保
: エンドレスキューの検討

○研究代表者

- ・当院責任者 : 消化器内科医師 内多 訓久
- ・研究代表者 : 香川大学医学部 消化器・神経内科 森 宏仁

○研究の概要

【目的】

- ・重力により凝固塊や食物残渣を移動させ視野を確保するU字型誘導管により、術者、患者ともに緊急内視鏡止血術時の負担を軽減でき、迅速で確実な止血が可能かどうか検証する。

【方法】

- ・緊急内視鏡止血術が必要と判断された吐血患者で、左側臥位で緊急内視鏡が施行され、送気しても胃体部、穹窿部や噴門部に凝血塊や食物残渣が貯留し視野の得られない患者において、視野の得られる胃角部から胃前庭部、幽門部、十二指腸まで、十二指腸確認後10分間観察し、出血部位の認められない患者150例を対象とする。
- ・これら150例の患者で、左側臥位では、凝血塊の下に出血点があると予測されれば、嚥下防止のためにオーバーチューブ(TOP Co, Tokyo, Japan)を挿入し、患者体位を左側臥位から右側臥位に回転させる。オーバーチューブにU字型誘導管を装着し、介助者がしっかりとU字型誘導管を把持し、内視鏡を胃内に挿入し出血点の検索と止血を施行する。

○倫理的配慮について

- ・同意書、説明書で説明。

○個人情報の取り扱い

- ・連結可能匿名化。
- ・病院カルテIDでの書面上の統一をし、氏名・年齢・性別は、入院時・手術時以外は、主治医のみにしか知らせない。